

実施の季節を変えての5年生、6年生の取り組み

鷺宮町立東鷺宮小学校

(平成22年3月市町合併により、現在は久喜市立東鷺宮小学校)

埼玉県久喜市桜田3-10-1

電話番号 0480-59-3122

FAX番号 0480-59-3120

全学級数	15学級
全児童数	473名
全教職員数	23名

活動地域と宿泊先

新潟県十日町市赤倉集落

【受入組織：赤倉地区活性化委員会】 → 詳細は106ページ

地 域 名	宿 泊 施 設
新潟県十日町市赤倉集落	民泊（約20軒）（5年生2泊、6年生1泊）

※引率者も農家にホームステイする。

活動のねらい



- (1) 赤倉地区の農家に少人数の分宿をし、農村の生活を実際に経験するとともに、**家族との触れ合い**を大切にする。
- (2) 児童の体験的実践的な活動を重視し、**集団生活に対応できる子どもを育てる**。
- (3) **地域環境の異なる子どもたちやお年寄りの方たちとの交流**を通して、多様なものの見方や考え、感じ方などの**社会性の向上**を図る。
- (4) 鷺宮地区との比較を通して、新潟県十日町市赤倉地区との**文化・自然・産業の違い**について感じ取ることができる。
- (5) 昔からの伝統技術の「わら草履作り」を体験すると共に、**地域の方々との交流**を深める。

取り組み前の課題

- (1) 特別な宿泊体制や活動に備えた綿密な計画の立案
- (2) 児童（知らない家庭にお世話になる不安など）や保護者（わが子が最後までちゃんと過ごせるだろうかなど）の不安の解消

対象学年・児童数 実施時期	5年生・62名 平成21年5月27日(金)～29日(日) →7月3日～5日実施(新型インフルエンザのため)
	6年生・70名 平成21年10月1日(土)～2日(日)

活動地域の選定で決め手となったポイント



- (1) 体験活動や民泊の調整等が十分に行える機能を備え、安全対策が十分に講じられているなど窓口が一元化された受入態勢が整備されている。
- (2) 本校からの問い合わせや依頼に対し、迅速かつ適切に対応されている。
- (3) 自然環境がすばらしく、現地の方々がたいへん温かい。

活動の成果

- (1) 普段体験することのできない様々な体感活動が実施された。特に赤倉地区のすばらしい自然環境の中での稲刈り・藁草履作り等の様々な体験が子どもたちの生きる力の礎となる生きた体験となったことは最高の成果である。そのすばらしさは子どもたちの喜びいっぱいの笑顔となって現れていた。
- (2) 子どもたちと地域の方々との交流は、他者と共に生きるためのコミュニケーション能力の向上だけでなく、豊かな情操を育てるためにも有効であった。
- (3) 2年間でそれぞれ春と秋の農山村の自然体験ができ、より充実したものとなっている。また、赤倉地区との皆さんとの交流も2年間を通してより深まっている。(1回限りの体験活動ではなく、2年間全体を通して豊かな体験活動となっている。)



夕食会(5年生)

課題に対する解決策

- (1) 早期(4月)において、引率予定者全員による実地踏査を行い、事前にきめ細かな打合せができた。また、実地踏査後も現地事務局と連絡を密にとり雨天対策も含め当日に備えた。
- (2) 全児童と全保護者が同席した事前説明会を実施した。



交流会(6年生)



交流会(赤倉神楽)(6年生)

体験活動の実施体制

学校の指導（支援）体制

- (1) 専門の宿泊施設における宿泊ではなく、一般住宅家庭への宿泊となるため、児童・保護者に十分な説明（赤倉集落で行う意味や交流の意義など）を行った。
また、十分な指導体制を図るため、早い時期（4月）に現地の視察をし、職員会議で全職員に様子を伝えたり、保護者に説明会を実施したりするとともに、現地での指導者（地元の長老や鷺宮町内ボランティア）との情報交換（指導者と教職員の役割分担）を十分に行った。
- (2) 地域のボランティアグループにより、農業体験の事前研修や現地における農業体験指導等の支援をいただいた。

配慮事項等（安全確保のための改善点、衛生上の留意点等）

安全確保

- (1) 学校と受入担当となる赤倉地区とで、安全確保に向けた事前打合せ（4月実地踏査時）を実施した。
- (2) 4月に引率予定者による実地踏査を行い、活動内容や活動場所、および児童への支援体制について協議した。
- (3) 緊急対応時の連絡系統を事前に十分確認した。（活動は全児童、教職員が常に一緒に行う）
- (4) 稲刈りで使用する鎌の安全な使用法について十分に確認し、怪我の防止に努めた。

衛生上の留意点

食物アレルギー等について事前調査をし、食事のメニュー等の事前調整を実施した。

感想

保護者からの声

- (1) 子どもが赤倉から帰宅して、「赤倉神楽」のことをいろいろ話してくれました。その赤倉神楽に親子共々興味を持ち、いろいろと書物などから調べてみました。鷺宮の「土師一流催馬楽神楽（はじいちりゅうさいばらかぐら）」との比較をしながらすばらしい歴史に出会いました。この子どもの体験のおかげで、親子の接する時間が増えました。
- (2) 体験活動を通して、自分のことは自分でできるようになりました。
- (3) 数多くの体験をさせていただき、感謝します。
- (4) 民泊への不安は大きかったですが、無事に楽しく帰ってきてうれしい限りです。



児童からの声



- (1) 私は田んぼに入るのは初めてでした。なんだかすべりそうでこわかったです。慣れてくるともっともっと植えたいくなりました。
- (2) 田植えの説明を聞いていると、早く田んぼに入って植えたいなという気持ちになりました。植えていくうちにだんだん楽しくなりました。植えた後の田んぼがとてもきれいに見えました。
- (3) わらを見たとき、このわらでぞうりができるのかなと思いました。説明を聞いても何を言っているのか分かりませんでした。地域の人に細かく教えてもらいながら何とか一足のぞうりを作り上げました。いい記念になりました。
- (4) きねでもちをつくなんて今まで見たことがありませんでした。人のやるのを見ていたらやさしそうでした。でも、自分がやってみるとなかなかうまくいきません。意外と難しいことが分かりました。出来上がったもちを食べたとき、特別な味がしました。



サツマイモ苗植え（5年生）



サツマイモ掘り（6年生）

実施までの経過

*平成12年、十日町市で進めていたグリーンツーリズム事業（過疎化集落活性化事業）を知り、交流を申込み赤倉地区との交流を行っている。平成21年度で10年目を迎える。

平成21年 4月 ・職員会議において「農山漁村におけるふるさと生活体験推進校」に継続応募することを決定

「事業計画書（案）」作成、事業推進組織の立ち上げ

- ・全引率者（管理職、養護教諭、5・6年担任）による現地実地踏査において、活動場所の確認や現地事務局との打合せの実施

5月 ・自然体験教室保護者説明会の実施

- ・5年生自然体験教室実施の延期（新型インフルエンザによる）

7月 ・5年生自然体験教室を実施（7月3日～5日）

*サツマイモの苗植え→サツマイモ畑の除草活動 ホタル鑑賞会の実施

田植え→現地の方々が実施済 その他の活動は予定通り実施

10月 ・6年生自然体験教室を実施（10月3日、4日）

活動内容

事前指導

(1) 5年生

- ・山間部に住む人々の暮らしの様子や植物の様子について調べ、現地の生活についての理解を深める。(4月の実地踏査時の写真、ビデオを提示)
- ・自然体験教室のグループ分けや役割分担等を決め、実施に対する意欲を高める。

(2) 6年生

- ・山間部と鷲宮町と都市部の生活についての調査を行い、自然や文化の違いについての理解を深める。
- ・自然体験教室のグループ分けや役割分担等を決め、実施に対する意欲を高める。

※5,6年生共通で、鷲宮町内のボランティアによる田植えの方法や稲刈り鎌の使い方などの事前指導を実施。

日程

月日	行	程
5年生 1日目 (5月29日)	7:00 7:30 11:00 16:30 17:00 18:30 19:30 20:00 21:30	学校集合、開校式 学校出発 十日町市道の駅キナーレ 買い物・昼食・体験学習・入浴 赤倉到着 自然体験教室開校式 各家庭へ キャンプファイヤー 夕食 各家庭へ 健康観察・就寝準備 消灯
5年生 2日目 (5月30日)	6:30 7:00 8:10 8:30 11:00 13:30 16:00 18:30 20:00 20:00 21:30	起床 朝食 各家庭出発 農業体験 (田植え・サツマイモ苗植え) 清水峠ハイキング(昼食) わら細工体験 各家庭へ(入浴) 赤倉小学校にて夕食会 並びに交流会 各家庭へ 健康観察・就寝準備 消灯



わら細工(ぞうり作り)



田植え

5年生 3日目 (5月31日)	6:30 起床 7:00 朝食 8:10 各家庭出発 8:30 赤倉小学校にて運動会 並びに餅つき大会 12:00 昼食会 13:00 お別れ会 自然体験教室閉校式 13:30 赤倉出発 17:00 学校到着、閉校式		赤倉小学校での運動会
6年生 1日目 (10月3日)	7:10 学校集合、開校式 7:30 学校出発 10:50 十日町博物館見学 12:00 十日町市道の駅キナーレにて 昼食、買い物 13:00 赤倉到着 自然体験教室開校式 13:30 農業体験学習 (稲刈り・芋ほり) 16:30 各宿泊家庭へ移動 17:30 赤倉小学校集合 夕食会並びに交流会 20:00 各家庭へ 20:00 健康観察・就寝準備 21:30 消灯		稲刈り
6年生 2日目 (10月4日)	6:30 起床 7:20 朝食 8:10 各家庭出発 8:30 ウォークラリー 11:00 餅つき大会並びに昼食会 およびお別れ会 12:40 自然体験教室閉校式 13:00 赤倉出発 16:50 学校到着、閉校式		餅つき大会

事後指導

5年生・6年生

- ・体験活動発表会を実施し、自らの体験について整理し、以後の生活に生かせるようにする。
- ・赤倉地区の人々へのお礼の手紙を書き、お世話になった方々への感謝の気持ちを表す。
- ・お世話になった家庭に年賀状を書き、心の交流の継続・深化を図る。

従来の修学旅行に民宿をプラスしての取り組み

そう か たか さご 草加市立高砂小学校

埼玉県草加市中央 1-2-5
電話番号 048-924-3425
FAX番号 048-924-3426

全学級数	33学級（内 特別支援学級 2学級）
全児童数	1,067名
全教職員数	65名

活動地域と宿泊先

福島県昭和村、金山町、会津若松市

【受入組織：奥会津山里体験推進協議会】 → 詳細は108ページ

地 域 名	宿 泊 施 設
昭和村	民宿（2泊）
金山町	民宿（2泊）
会津若松市	ホテル

活動のねらい



- (1) 自然豊かな福島県昭和村・金山町での生活体験を通して、自然と共存している村の人々の生活を理解させるとともに集団生活の充実感を感じさせ、連帯感や仲間意識の向上を図ることができるようにする。
- (2) 昭和村・金山町での生活を通して、草加での自分たちの生活の中で、身近な自然環境とどう向き合って生活していくかを考えることができるようにする。
- (3) 昭和村・金山町の郷土の体験学習を通して、郷土文化に親しむと同時に、その土地の人々の知恵を享受し、これからの学習や生活に生かせるようにする。
- (4) 集団行動を通して、お互いに協力し合って活動することの大切さを体感するとともに、時と場をわきまえた行動と計画性を養うようにする。

取り組み前の課題

- (1) 市内に同様に豊かな体験活動に取り組む小学校が無かったため、子ども達に合理的に時間が使えるか不安であった。
- (2) 教育課程、学習指導等とのリンクをどうするかが課題であった。
- (3) 昭和村や金山町の情報が乏しかった。
- (4) 子ども達は農業への知識が不足している。

対象学年・児童数	6年生・204名
実施時期	平成21年10月26日（月）～29日（木）



活動地域の選定で決め手となったポイント

草加市は昭和村・金山町と姉妹都市としての友好関係を締結していた。

折りしも自然環境のなかで体験活動の充実を図ることを目指していた本校では、**自然が豊かな地域**に移動し、**宿泊を伴った形で実施することが効果的であると考え、それを具現化できる、すばらしい自然に恵まれた地域**として昭和村と金山町を選定した。

活動の成果

- (1) 自然豊かな昭和村での生活体験を通して、**自然と共存している昭和村の人々の生活の様子について、共感しながら理解することができた。**
- (2) 郷土の体験学習を通して、**昭和村の郷土文化や人々の知恵について学ぶことができた。**
- (3) 3泊4日の宿泊を伴う集団行動を通して、**お互いに協力し合う大切さやマナーについてより深く学ぶことができた。**
- (4) 様々な体験を通して、**新たな技能が身につき、興味・関心の範囲が広がった。**
- (5) 事後報告会を「農山村体験を振り返ろう」という形で実施し、**保護者、地域の方々に活動について広めることができた。**

課題に対する解決策

- (1) 教科のとり方を調整をし、2クラス毎に行う活動と学年全体で行う活動を組み、工夫した。
- (2) 全て「総合的な学習の時間」とすると時間制限があるため、教科にカウントしてバランスを図った。
- (3) 昭和村や金山町についてインターネット等を活用して事前調査をした結果得られた資料や写真を児童に提供し、具体的なイメージをつかめさせた。
- (4) 草加市の農業を児童に調べさせ、昭和村との比較学習を行った。



お世話になった民宿の前で



民宿でのお手伝い

体験活動の実施体制

学校の指導（支援）体制

- (1) 学校を挙げて、次のとおり体制整備を行った。
 - ・事前指導・事後指導、準備・片付け等について全職員で対応した。
 - ・活動内容や農作業等で助言を得る場合、**学校評議員、保護者、地域や学校応援団の理解や協力**を得られるようにした。
 - ・実施時期が10月下旬の課業期間中であつたが、校内の協力体制を整え、**校長をはじめ養護教諭1名、学級担任6名、担任外職員6名のほかに特別支援学級児童へのボランティア1名の合計15名の引率教員等を配置した。**

配慮事項等（安全確保のための改善点、衛生上の留意点等）

安全確保

- (1) 「奥会津山里体験推進協議会」を基地として、**緊急時の対応に備え、常に学校職員とボランティアの人たちと連絡がとれるようにした。**
- (2) 「お迎え保険」に加入し、児童の事故やけが、急な病気に備えた。

衛生上の留意点

- (1) インフルエンザ対策として、バス乗車の際に、アルコールによる手・指消毒を実施した。また、車内ではマスクを着用させるとともに、うがい・手洗いを徹底させた。



そば打ち体験



打ったそばで昼食



大根の収穫



みそ造り体験

感想

保護者からの声

- (1) 子どもたちが、草加では体験できない貴重な体験をすることができてよかった。家でも、「また行きたい」「またやりたい」と言っていた。
- (2) とってきた大根を家族でおいしく頂いた。また、学校でのたくあん作りもよいと思った。試食が楽しみ！
- (3) 体験後、子どもが味噌を使った料理に関心をもつようになった。自分たちでつくった味噌を早く味わいたいと言っていた。
- (4) 行く前に、農作業等について不安もあったが、帰ってきた子どもの様子がとても楽しそうだったので、行かせてよかったと改めて思った。
- (5) 子どもの思い出話を聞いて、家族でも楽しめると感じ、家族旅行で昭和村へ行くことにした。



児童からの声

- (1) この2泊3日の農山村体験は、私たちにとってたいへん貴重なものとなった。自然とともに生活をしている昭和村の人たちのやさしさや温かさ、そして、生活の知恵などに触れることができた。この体験で学んだことを生かして、残りの小学校生活をしっかりと過ごしていきたいと思う。
- (2) 味噌造りは、初めてでこんな風に味噌を造っているんだなあと思った。また、味噌造りはとても楽しくて勉強になった。



実施までの経過

- 平成21年 3月 学校長より「豊かな体験活動推進事業」に応募することを決定。
- 4月 文部科学省より「豊かな体験活動推進事業」の内定通知を受理。
第1回保護者説明を開催。(事業内容の説明)
- 7月 第1回 現地事前調査を実施。第2回保護者説明を開催。
- 8月 第2回 現地事前調査を実施。
- 9月 第3回 現地事前調査を実施。第3回保護者説明を開催。



ハイキングの達人による野外活動

活 動 内 容

事前指導

- (1) 6月 : 総合的な学習の時間「すくすくタイム」を利用して調べ学習をスタートする。
テーマを「昭和村博士になろう!」に設定する。

※夏休み中の8月下旬に、第6学年担任による実地踏査を実施し、
活動計画の修正・見直しを学年で検討する。(全4回)

- (2) 9月 : テーマを「昭和村博士になろう!」から「**埼玉県**の産業と昭和村の産業を
比べよう!」に発展させ、調べ学習を継続する。

9月下旬: 保護者向けの説明会を実施する。

10月上旬: しおりを作成後、児童向けの説明会を実施する。

日 程

月日	行 程
1 日 目 (10 月 26 日)	7:00 出発式 7:15 学校出発 11:05 会津若松市 日新館到着。 昼食後、日新館を見学。 13:30 日新館出発 15:20 昭和村到着 15:30 歓迎セレモニー(昭和村公民館) 15:50 各民宿へ移動 17:00 夕食 18:00 温泉・民話ツアー(2・3・4組) (1・5・6組はフリータイム) 21:00 消灯
2 日 目 (10 月 27 日)	6:00 起床 7:00 朝食 8:00 バスで体験活動場所へ移動 8:30 体験活動①② 12:30 昼食 13:00 体験③④ 16:30 体験終了 17:15 夕食 18:00 温泉・民話ツアー(1・5・6組) (2・3・4組はフリータイム) 21:00 消灯



歓迎セレモニー(レセプション)



民話ツアー

3 日 目 (10 月 28 日)	6:00	起床	
	7:00	朝食	
	8:00	バスで体験活動場所へ移動	
	8:30	体験活動⑤⑥	
	10:45	バスで会津へ出発	
	12:10	鶴ヶ城見学	
	14:30	鶴ヶ城出発	
	14:40	番匠到着（赤べこ作り体験）	
	16:00	番匠出発	
	16:30	ホテル到着	
	17:45	夕食	
	19:00	入浴	
	21:00	消灯	
4 日 目 (10 月 29 日)	6:00	起床	
	7:00	朝食	
	8:00	退館式	
	8:30	出発	
	9:15	野口記念館見学	
	10:00	野口記念館出発	
	11:15	あぶくま洞見学	
	12:15	あぶくま洞出発	
	12:25	昼食	
	13:20	出発	
	16:50	高砂小学校到着	
	17:00	解散式	
	17:15	下校	

赤べこ作り体験

あぶくま洞見学

事後指導

(1) 11月：総合的な学習の時間「すくすくタイム」で、体験活動の振り返りを行った。

形式は、各グループで決め、劇、紙芝居、リーフレット等様々である。

(2) 11月15日（日）に開催された「福祉まつり in 草加」に参加し、「豊かな体験活動」について代表児童が、野外ステージにて発表を行い、地域や市民の多くの方から高い評価を得ることができた。



福祉まつり in 草加での発表